

岐阜県の プラスチック

岐阜県プラスチック工業組合会報

第62号

プラ製品製造が標準産業分類で格上げ

大野繁俊さん黄綬褒章に輝く

県発明くふう展で岐阜プラと天龍が受賞

技能検定で武藤副理事長が知事表彰

労務改善コーナー

デザインのすすめ

賛助会員の工場訪問

事務局だより

岐阜県知事表彰



工
組
青
年
部
が
青
年
中
央
会
の
創
立
記
念
物
産
展
に
参
加

プラ製品製造が中分類に

来年4月から標準産業分類改定

格上げが実現、業界の地位確立

『プラスチック製品製造業』は、昭和60年4月1日から産業分類上の位置付けが小分類（ナンバー396）から中分類（ナンバー22）へ格上げされる。プラスチック製品製造業が小分類から中分類へ格上げ実現したことは、企業数、生産量、販売額など大産業として規模が名実ともに認められたわけで、これを機会に業界の一層の発展が期待される。

一方、岐阜県では早くからプラスチック産業を県七大産業の一つに数え、さらに数年前から統計調査では産業分類の格上げを予定して『プラスチック製品工業』として独立した項目で調査している。それによると岐阜県のプラスチック工業は全国の4.5%のシェアを誇り、全国第8位のプラスチック生産県として位置付けられていることがわかり、業界の成長発展ぶりが注目されている。

従来はその他の製造業に入る

わが国の『標準産業分類』は、総務庁（行革で変更）が作成しているもので、プラスチック加工業は化学工業にも入らず、その他の製造業（中分類でナンバー39）に属し、小分類でプラスチック製品製造業（ナンバー396）として位置付けされている。板・管・継手、フィルム・シート、床材、工業用製品、発泡製品、強化製品、成形材料及び製品加工というようなプラスチックの業種別加工業は、細分類（ナンバー3961～3969）で位置付けされてきた。

大松理事長らの運動実る

こうした小分類、細分類への位置付けは、プラスチック加工産業が現在のような重要産業に至る発展と確立が昭和30年代以後のことも一つの要因である。もともと標準産業分類は、統計基準の一つとして統計調査のために設けられた

岐阜県のプラスチック業界の規模	
岐阜県下の事業所数	399社
〃 従業員数	8,090人
〃 出荷額	2,085億円
県別の位置付	第8位
前年比伸び率	14.7%
鉱工業指数の伸び	
生産	55年100とすると58年122.9 59年4月139.3
出荷	55年100とすると58年133.1 59年4月156.9

もので、その意味ではプラスチック製品製造業の位置付けが必ずしもその時代における産業の重要度と直接的な比例関係はないといえる。

しかし、今日の産業の実態からすると著しく過小評価されたもので、業界の大半が中小企業であるといっても、業界イメージはよくない。

大野さん黄綬褒章に輝く

喜びの表情をNHKテレビが放映

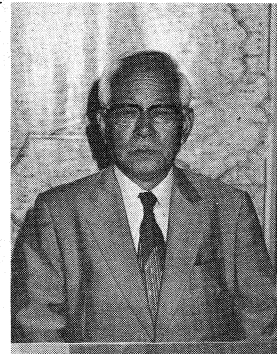
秋の褒章受章者が11月8日付で公表され、当工業組合副理事長の大野繁俊さん（東海ポリエチ工業所代表取締役）が、業務精励として『黄綬褒章』を受章した。

大野さんは、日本ポリオレフィンフィルム工業組合理事、同中部支部長、中部ポリオレフィン事業協同組合理事長などを努め、この道31年になる。今年5月8日には、岐阜県の

業界振興に尽したとして『岐阜県知事表彰』を受けたのに続く榮譽で、大野さんの喜びはひとしお。

黄綬褒章の発表は各新聞はもとよ

り、NHK総合テレビ・朝のニュースで大野さんの喜びの表情が全国放映され、プラスチック業界の話題となった。写真は



このため大松理事長が日本プラスチック工業連盟の副会長に就任した時代から『プラスチック製品製造業は、今年年間販売額は数兆円に達する大産業でありながら、分類的にはその他の製造業に属する小分類の一つに過ぎない。これは従業者への動機付け、経営者のモラル向上、企業の金融機関に対する実利面など、さまざまな理由から不利益をこうむっているので、中分類へ格上げしてもらいたい』と関係方面へ強く要望し続けてきたのが実ったもの。

岐阜県のプラスチック生産量は近年急上昇へ 全国順位は8位へ進出

この機会に岐阜県プラスチック製品製造業の地位を見てみよう。

昭和57年の全国製品生産量は、前年比2.4%増の391万トンで、400万トンの大台に達する勢い。この中で岐阜県の実産量は18万トンで、全国の4.5%のシェアで第8位のプラスチック製品生産県に位置付けられる。上位の府県をみると関東では①埼玉④神奈川⑥茨城⑨栃木⑩千葉⑫東京、関西では②滋賀⑤大阪⑦兵庫、この中部では③愛知⑧岐阜⑪静岡一があり、いずれも主要経済圏を取り巻いた地区である。

業界の一層の発展期待される

中分類への格上げは、業界の総意と関係省庁の尽力によって実現したものである。産業分類上の位置付けが向上し、明確化することによって、現在の各種プラスチック製品に加え、今後ますます多様化が見込まれる多品種の製品に対応し、統計上の細分化が可能となろう。さらに関連企業の加工業への認識の向上などを背景に、業界の一層の発展が期待される。

また、57年の対前年伸び率は全国平均で2.4%であったが、岐阜県の場合は実に14.7%と高度な成長を遂げ、茨城（8.0%増）滋賀（4.3%増）も伸びている。トップシェアの埼玉（5.2%減）はじめ静岡（2.9%減）東京（2.8%減）の主産地は減少している。岐阜県の急成長によって昭和54年当時全国13位だった生産力が、57年には8位とランクは大きく上がり、その後58年も57年に近い生産量の伸びが予測されていることから、59年時の結果によって岐阜県は7位の兵庫を追い抜く可能性もある。

岐阜プラ大崎 チームが優勝 第3回ボウリング大会

当工業組合は、昨年度から開始した中小企業
集団育成事業（労務改善事業）として、10月20
日夜、岐南町にあるミナミインターボールで『
第3回ボウリング大会』を開いた。大会は34チ
ームが参加、運営は組合青年部が担当した。

ゲームは武藤青年部会長の合図でプレーボ
ールし、名プレーや迷プレーが続出。各チームと
も2ゲームを行い得点を競った。この結果、岐
阜プラスチック工業の大崎チームが優勝、2位
は武藤合成の領木チーム、3位は岐阜プラスチ
ック工業の田辺チームだった。



今年度チャンピオンの表彰式

今年度のチャンピオンは田辺さん 第2回と第3回の6人が熱戦展開

なお、このあと59年度チャンピオン決定戦を
行った。出場者は第1回大会の上位3人と今大
会の上位3人の合計6人が出場し、2ゲームの
熱戦を展開した。この結果、岐阜プラスチック
工業の田辺さんが優勝、59年度のボウリングチ
ャンピオンとなった。第2位は同岐阜プラスチ
ック工業の大崎さん、第3位は武藤合成の領木
さんだった。



第3回ボウリング大会の表彰式



ミナミインターボールで熱戦を展開する各チーム

このボウ
リング大会
は労務改善
事業として
実施、好評
なため次回
も開催企画
しており、
多数の従業
員と共に参
加してくだ
さい。

青年中央会が創立記念式典開く

— 工組の青年部会員がそろって参加 —

岐阜県中小企業青年中央会は9月29日、岐阜産業会館で『創立10周年記念式典』を開いたがプラスチック工組青年部は、武藤青年部会長ら全会員がそろって参加した。

青年中央会は昭和49年5月19日、全国5番目に発足、10年目の今日では66組合青年部、構成部会員2,300余人へと拡大した。当工業組合青年部は、昨年春創立、62番目の組合青年部とし

て青年中央会へ加入し、労務改善事業など親組合の事業分担をするなど青年部活動を展開してきた。

青年中央会の10周年記念式典は、産業会館文化ホールで開いた記念式典、記念ビジョン討論会、また、大展示場では青中物産展と記念パーティーが花やかに開かれた。青中物産展はパーティー会場の周囲に各組合青年部が、自慢の



業界の製品を持ち寄り、参加者に展示、即売した。プラスチック工組青年部は業界の概要をパネル展示したほか、各社の代表的な成形製品を見本展示し、業界の技術レベルを広く紹介した。(写真左はその展示小間)

多治見で県産品展示会開く

工組は2コマ40種類を出品

当工業組合は、11月24日から2日間、多治見市文化会館で開かれた『昭和59年度・岐阜県産品展示会』に出品、業界をPRした。

この県産品展示会は『見直そう・身近かに良い品・県産品』をテーマに、毎年、県内各都市を巡回、広く県民に地場産業がどのような産業

活動を展開しているかを製品を通じて知ってもらうために開催した。

工業組合は、組合員から出品のあった約40種類200点の成形製品を2コマに展示した。

会場は食品、繊維製品、紙製品、陶磁器製品、金属製品、木製品、伝統的工芸品など県内地場産業がこぞって出品、参観者に認識と理解を深め、同時に愛用を呼びかけた。この他、統計パネル展や試験研究機関の紹介コーナーもあった。

「県発明くふう展」開く 岐阜プラと天龍工業が受賞

岐阜県、岐阜市と発明協会岐阜県支部は、11月8日から6日間、岐阜市内の新岐阜百貨店5階催事場で『'84岐阜県発明くふう展』を開いた。出品は三部門にわかれ第一部の企業の部に当工組から二社が出品、岐阜プラスチック工業が名古屋通産局長賞に、また、天龍工業が各務原市長賞に輝やいた。

岐阜プラが受賞したのは『屈曲管成形用金型』で、排水用塩ビ管継手を成形する際、従来は長時間を要したが、新開発の金型は通水路中で型締め、射出成形、型開きし、瞬時に成形。成形時間も大幅に短縮できるようになった。

天龍工業が受賞した『光ファイバーを利用した表示装置』は、光学繊維の光伝力を利用したマラカイト光飾看板とマラカイト光飾ディスプレイ。



出品した①岐阜プラスチック工業 ②天龍工業



レー。光ファイバーの特性を新しい表示装置に利用、ネオンサインに代って期待される。

再資源化プラントが完成

— 廃発泡スチロールを有効利用 —

使うには便利でもあとの処理に困る発泡スチロール製容器、その厄介な廃物を有効に利用しようという再資源化プラントが横浜市中央卸売市場本場（横浜市神奈川区山内町）に完成、稼働している。

このプラントは横浜市と通産省の外郭研究団体・クリーン・ジャパン・センターが国庫補助事業として昨年6月から事業費3億円で完成した『廃発泡スチロール再資源化実証プラント』で、使用済みの発泡スチロールからプラスチックの原料となるスチレンペレットを再生するわが国初の施設である。

再資源化のプロセスは、破碎機で6センチ角

ぐらいに砕いたあと、洗浄、脱水したあとさらに粉碎、熔融、押出機でペレットをつくるものである。現在の再生能力は1日約1トン（発泡スチロールにすると8トン積みトラックで10台分の容積）で、将来、1.5トンまで能力を高める方針。

なお、通産省の調べでは、発泡スチロールの年間生産高は11万7,000トン（昭和55年）で、このうち水産関係に3万8,000トンが使用される。この他、生鮮食料品、家電製品、各種流通容器として急速に増えているという。

発泡スチロールは、産業用ゴミと一般ゴミのどちらかにも属さない『事業用ゴミ』として扱われており、また、廃棄処分のコストが非常に高いこともあって各自治体や業界にとって大きな悩みの種である。

デザインのすすめ
岐阜県プラスチックデザイン協会

企業イメージ形成のためのマーク・ロゴ
企業イメージを視覚的に表現するための要素は次のように分類される。

- (A) 基本要素としてのマーク・ロゴタイプ
 - ・コーポレート・マーク
 - ・ブランド(商標)マーク
 - ・社名ロゴタイプ
 - ・ブランド・ロゴタイプ
 - ・コーポレート・カラー
 - ・コーポレート・ステートメント(企業標語)など
- (B) 実際的に組み合わせた使用例
 - 広告宣伝物—TV広告、新聞雑誌広告、ポスター
 - 販売促進物—POP、ノベルティ、製品カタログ
 - 広報—会社案内、PR誌、社内報
 - 輸送機—自動車(サービスカー、輸送車)
 - 建物—外観、インテリア、ディスプレイ

- 包装—パッケージ、ビン、タッグ、ラベル
- 事務用品—名刺、封筒、便せん、ユニフォームなど

これら(A)と(B)を総合し、一定のルールを決め、デザインマニュアルとしてシステム化することは、以後のデザイン管理を効果的にし、デザインの水準維持や、省力化、製作費のコストダウンにつながる。

もちろん、これらすべてを大手企業同様レベルに合せることは、費用その他の面で問題であるが、いかに小規模企業とて何もしていない企業はないはずである。

県下プラスチック日用雑貨製造業が最初に取り組むべきイメージは、ブランドイメージであり、ユーザーへのアプローチ効果も高い。

個の製品を中心として最少の関連グループ製品を仮に集合させ、どのような理由で開発したが、(5W1H)方式によって、開発ポリシー・コンセプトの共通性を見出し、現状を把握することから始めれば、必要なブランドイメージも、それに伴う新たな道具建での必要性も理解されるはずである。もちろん、ブランドイメージ形成方法は、これによるばかりでない。
(岐阜県工業技術センター 技術振興部)

出光

の石油化学製品

◎取扱品目

ポリスチレン


高圧ポリエチレン

中低圧ポリエチレン

ポリプロピレン

カルプ®

ポリカーボネート



出光石油化学株式会社

東京都千代田区丸の内3-1-1(国際ビル) 〒100 ☎ 03-213-3111
名古屋営業所 名古屋市中区錦1-17-13(名典ビル) 〒460 ☎ 052-231-8611

中高年者の災害発生率 40歳後半から著しい増加

労務改善コーナーの前回は『中高年者の体力と安全』をとりあげ、とくに生理や心理機能特性から安全対策を考えてみた。今回は災害の年齢段階別発生率について特集しよう。

企業規模による格差も大きい

災害の内容は、作業方法や環境と具体的にわかり、建設業は仮設物・構築物に起因する割合が多く、製造業では動力機械に起因する災害の占める割合が多い。また、製造業における規模別災害度数率（昭和57年）は30～49人規模で9.85、100～299人規模で3.95、1,000人規模以上で0.63となり、企業規模による格差の大きいことを示している。

図は製造業における主な事故の型別、年齢段階別の死傷者数（1,000人率）を示した。製造業における年齢段階別就労者は30～40歳代が中

心で、およそ55%に達するが、年齢段階別の雇用数で示した災害率は20歳代で小さく、それより若くても、年齢が高くても発生度合は大きくなる。

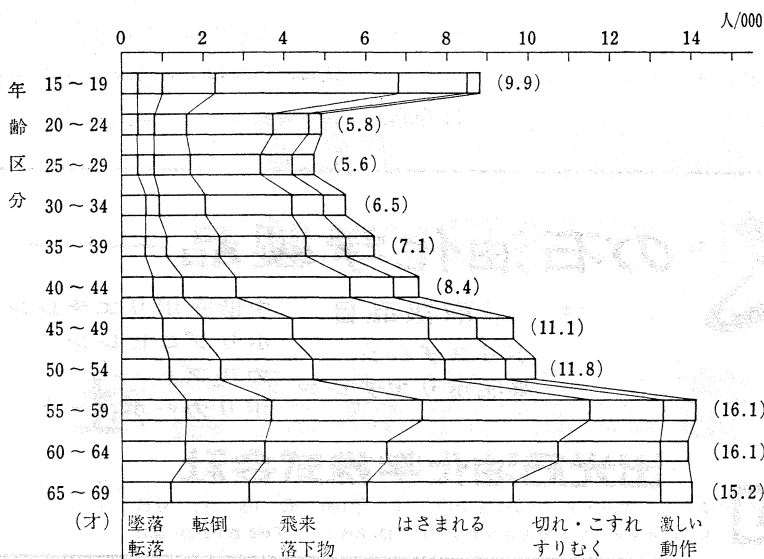
事故の型別では「はさまれる」がどの年齢段階でも比率が高く、10歳代ではそれに「切れ・こすれ・すりむく」等となる。年齢段階が高くなると「飛来・落下物」「転倒」「墜落」「転落」等も増え、60歳代ではそれに「切れ・こすれ・すりむく」等の型が増えている。

適正な作業時間や休憩が必要

年齢別の発生件数は25～29歳を100とすると30～34歳で16%増、35～39歳ではさらに10%増えて26%増、40歳代前半では24%も増えて50%増となる。さらに40歳代後半では48%増えて98%と著しい増加をみている。

製造業における主な事故の型別、年齢別死傷者数(昭和55年、休業4日以上)

死傷者数は産業安全年鑑(昭和56年)、雇用者数は国勢調査報告(昭和59年)から作図
()内数字は年齢段階の千人率



このように年齢段階別の事故発生には、年齢区分で顕著に増高する傾向がみられ、40歳代後半については生理機能の衰退、50歳台後半については定年再就職における労働環境の変化での被災等が著しく増高させる背景にあるのではなかろうか。

したがって、作業条件、環境に対応した適正な連続作業時間や休憩時間の確保が重要になってくる。(続く)

忘れていませんか

コンプレッサの省電力

電気使用合理化診断から

前号でプラスチックの成形加工業を対象に行われた電気使用合理化診断結果を紹介したが、この中で、電熱と冷却水の合理化使用が大きく指摘された。こうしたかげで忘れられがちなのはコンプレッサの省電力といわれる。

近年、圧縮空気は、設備・生産ラインの自動化にともない広範囲に利用され、重要な動力源のひとつになっている。使用状態に適合した機種、容量、設置台数を選ぶことは、生産性および省電力の面からも大切なことである。

□ コンプレッサの選定

コンプレッサは定格の風量の時に効率が最高になるよう設計されているので、必要以上に大きな容量を選定すると効率の低い運転になる。一般に同一機種ならば、容量が大きいほど効率が高くなる。したがって、使用空気量に見合った設備1台を運転した方が高効率となるが、使用空気量が変動する場合は複数台に分割する。

□ 空気圧の低減

コンプレッサは圧力が高くなるにしたがって

消費電力量も増加する。例えば5～7キログラムセンチの圧力を1キログラムセンチ下げて、4～6キログラムセンチで使用すると、約11%の電力使用量が節約できた事例がある。

また、空気漏れも圧力が低いほど少なくなってくる。したがって品質や作業能率に支障をきたさない範囲で、できるだけ圧力を下げて運転。

□ エアーノズルの口径の検討

作業に見合った必要最少限の口径を使用するとよい。使用中の大部分のものを、支障のない小さい口径に変えて、23%もの省電力を達成。

□ 空気漏れの防止

空気漏れは、エネルギーの大きな浪費なのでこれをなくすことが大切。空気漏れの個所は、だいたい弁、継手と決っている。

漏れの程度は、石けん水などで検出できるなら問題ないが、音で判る場合は数%の漏れ。

□ 配管における圧力損失の防止

配管の圧力損失は、配管の空気抵抗が大きいくほど増加する。空気抵抗は配管の長さ、断面積、配管状況（曲り径、接続方法）によって違ってくるが、電線の電気抵抗とほぼ同様な特性である。このため配管はできるだけ短かく、空気量に対して十分の太さのものを使用すること。

徳山ポリプロ

徳山OPフィルム

ポリプロピレン二軸延伸フィルム



徳山曹達株式会社

名古屋営業所

名古屋市中村区名駅四丁目27番23号（新名古屋ビル東館5階）
電話（052）581-1581代

潤滑油の供給システム確立

日の丸石油

今回の組合員訪問は、賛助会員である日の丸石油（岐阜市西明見町8番地、川上一郎社長、従業員45人、資本金2,000万円）を訪ねた。同社はタクシーの日の丸自動車の系列企業で、創業は昭和37年11月。日の丸自動車の燃料部門を分離、日本石油と特約契約し、ガソリンをはじめとする各種の油類を販売開始した。当時のわが国経済は、第二次大戦の混乱から立ち直り、成長期に入ろうとする直前で、いわば今日の石油時代を見通した創業であった。

給油所の第1号は、本社のある城南通りに創業まもなくオープンした城南給油所。ついで昭和39年に常盤町給油所、42年に梅林給油所、44年に長良川給油所というようにモーターゼーションと共に給油所を岐阜市内に増設した。また、灯油需要の増大に備え、本社には灯油配送センターを建設、供給体制を整えた。

支店管内上位占める潤滑油販売

日の丸石油の特色は、ブームのガソリンや灯油、重油など燃料類の販売ばかりに気をとられず、工業用の各種潤滑油の販売と取り組んだこ

とである。工場の機器が円滑に作動するために欠かせないのが潤滑油。同社では契約企業との連携で、単なる潤滑油の販売だけではなく、全ての機械や工場設備の保守管理まで行う『潤滑油供給システム』を確立、サービスした。

各種潤滑油の販売と全面的に取り組んだのは46年で、この時、本社の営業部に潤滑油部を設けた。56年には本社の配送センターの貯油能力を高め、潤滑油供給基地とした。こうして各種潤滑油の販売に力を入れた結果、日石名古屋支店管内で5位を下ったことがないという販売実績をもつという。

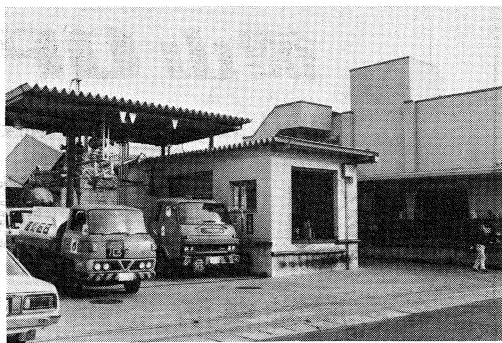
組合員企業に共同購入を要望

ガソリン販売に始った同社は、あらゆるオイルとガス（取扱品目は合計70種）のニーズを満たす企業に成長した。

当工組の賛助会員となったのは、57年9月に開いた“プラスチックフェア岐阜”へ出展したのがきっかけ。担当の多田恒二営業部長は『当社は、成形機に欠かせない潤滑油の供給と管理システムをもっているのだから、共同で購入いただければ組合のメリットは大きい…』と、共同注文、共同購入を要望している。



第一号の岐阜市城南通りの城南給油所



本社にある石油製品の供給基地

事務局だより

会員と事務局を結ぶページ

□武藤副理事長が職訓大会で知事表彰□

第5回岐阜県職業訓練大会が11月21日、岐阜産業会館文化ホールで開かれ、この席上、武藤昭三さん（副理事長、武藤合成代表取締役）と足立弘之さん（岐阜プラスチック工業



受彰した武藤さん

生産管理部勤務）の二人が表彰を受けた。

この職業訓練大会は、技術革新の時代にあって技術者、技能者養成の重要性を呼びかけるもので、当日は県内の職業訓練関係者約500人が参加して開かれた。

副理事長の武藤さんは、長年、技能検定委員としての功績が認められ、県知事から表彰を受けた。また、足立さんも技能検定委員の一人でその努力が認められ、県職業能力開発協会長から表彰を受けた。

□健康保険組合設立へ理解と協力を□

工場組合員の企業を中心に「岐阜県プラスチ

ック健康保険組合」（仮称）の設立準備が着々と進んでおります。さる5月の総会で設立の承認を得たあと、対象企業を訪問したり、社会保険事務所などの協力を得て基本台帳や過去の実績調査を行い、すでに、調査のすべてを完了していますが、続いて健康保険組合設立の構想をまとめるところなので、ご期待ください。この健康保険組合は、工業組合の組合員企業のご賛同を得るばかりではなく、広く全県下にあるプラスチック関係業界の皆さんからもご賛同を得て設立する大がかりなものです。

□共同購入の希望商品を聞かせて…□

工業組合では、組合員企業の経営に必要な商品、機器の一括購入やあつ旋を行っております。新商品、新機器情報を聞かせてください。

岐阜県のプラスチック 1984 62号

昭和59年11月1日発行

発行 岐阜市六条南2丁目11番1号

（岐阜産業会館4階）

電話 (0582)72-7173

岐阜県プラスチック工業組合

発行責任者 大松幸栄

ポリエチレン

スミカセン®

エチレン酢酸ビニル共重合樹脂

エバテート®

ポリプロピレン

住友ノーブレン®

ポリスチレン樹脂

エスブライト

塩化ビニル樹脂

スミリット®

メタアクリルシート

スミペックス®

メタアクリル樹脂

スミペックス-B®

高密度ポリエチレン

スミカセンハード

熱可塑性エラストマー

住友TPE

合成ゴムSBR

住友SBR

合成ゴムEPR

エスプレン®

エチレン酢酸ビニル

塩化ビニル共重合樹脂

スミグラフト®



住友化学工業株式会社

名古屋支店

〒460 名古屋市中区錦1丁目11番18号(興銀ビル)

電話 <052> 201-7571



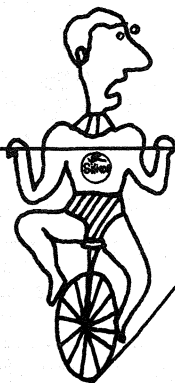
ニーズに**適確に**
こたえることで
未来の扉をひらきます

産業や生活のあらゆる分野で、便利さや快適さを生みだしているプラスチック。このすぐれた特性をコントロールして、繁栄のためによりよく活用しなければなりません。信越ポリマーはプラスチックを主な素材として、各種の製品を多角的に開発、生産、販売しています。一方、これらの製造や流通のプロセスにあたって、安全や環境の保全にも十分配慮し、時代と社会のニーズにこたえる新しい価値づくりを進めています。

新しい素材を価値あるものに

 **信越ポリマー**

名古屋支店 名古屋市中村区名駅4丁目27番23号 (新名古屋ビル)



信越シリコーンなら

ではの、**離れ技**

**信越シリコーン
離型剤**

プラスチックの離型に最適な離型剤をご紹介します。

信越シリコーン離型剤。熱に強く、化学的に不活性ですから、型や成形材料を汚したり、傷めたりする心配がありません。不良品の発生を防ぐばかりか、清掃などの労力が軽減できますので、作業能率も一段と向上します。

〈特長〉

- 少量の塗布ですぐれた離型性。
- 耐熱性、撥水性にすぐれています。
- 化学的に不活性ですので、型を傷しません。
- 複雑な型にも使えます。
- 品種が豊富です。



信越シリコーン

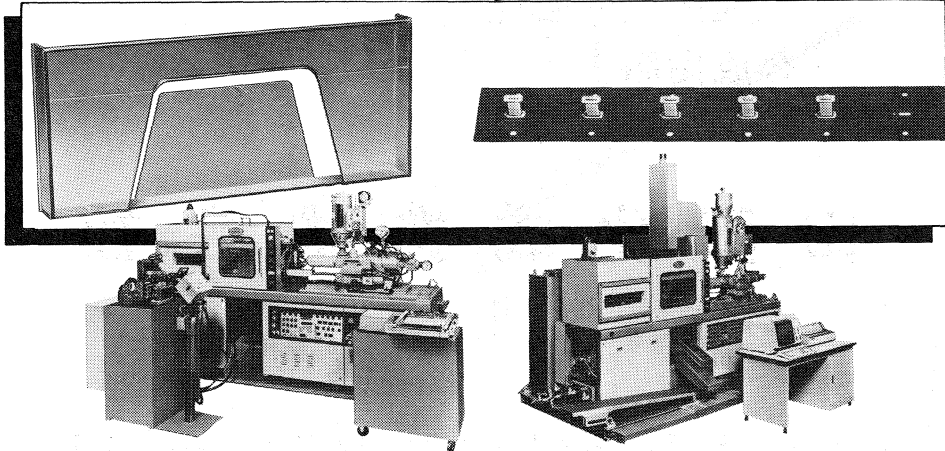
信越化学 / 名古屋支店

名古屋市中村区名駅4-27-23(新名古屋ビル東館)

TEL(052) 581-6511 (代)

射出成形を知り尽くした多角的な高度技術
だから出逢えます。求めていた成形技術が...

技術の予言射



実用的なシステム成形の先取り

手軽なミニFMS、また成形機のMC化など
用途に応じたシステム成形で話題を集めております。
金型交換から成形、そして後加工、さらには搬送システムの簡便化など
経済的、合理的な生産ラインを実現します。

NISSEI 精密射出成形機・世界のトップメーカー 日精樹脂工業株式会社

本社・工場・長野県坂城町 電話(0268)82-3000(大代表)
営業所・東京(03)357-7541(代表) 大阪(06)693-7881(代表)
・名古屋(052)732-0261(代表) 長野(0268)82-3000(代表)
出張所・全国34ヶ所・海外サービスステーション24ヶ所(21ヶ国)
岐阜出張所・〒500 岐阜県岐阜市西部寺屋敷3-40西ビル 電話(0582)72-5952

TOSHIBA 東芝機械株式会社

本社 東京都中央区銀座4丁目2-11
名古屋営業所 名古屋市中村区名駅4丁目7番23号
化工機課 TEL <052> 561-8341

三菱化成のエンジニアリング プラスチックス

ナイロン樹脂

NOVAMID
ノバミッド

ポリカーボネート樹脂

NOVAREX[®]
ノバレックス

PBT樹脂

NOVADUR
ノバドール

中低圧ポリエチレン
ポリエチレン

NOVATEC NOVATEC-L

高圧ポリエチレン



三菱化成工業株式会社

本社：東京都千代田区丸の内2-5-2・三菱ビル
電話 03(283)6111(大代表) (〒100)

染料 }
工業薬品 } 販売
合成樹脂 }

山田化成株式会社

取締役社長 山田正水

本社 〒101 東京都千代田区内神田2丁目8番4号
TEL (03) 256-7861(代)
名古屋出張所 〒460 名古屋市中区丸の内3丁目13番18号(サワニビル)
TEL (052) 961-6591(代)

UL・94-V0 認定材料

自己消火性樹脂

JSR NF94
JSR NC100

日本合成ゴム株式会社 本社/東京都中央区築地2-11-24 TEL(03)541-4111・名古屋支店/TEL(052)571-1231

発見と発明

ゆたかな生活環境をクリエイト

MMA部門を中心として、時代のニーズに合った
発見と発明を…



“発見”されたモノを日常生活に使用できるように研究開発することが“発明”です。人類にとって新しく“発見”されたエネルギー“天然ガス”を原料に「高品質素材の総合開発」をテーマに、“発明”を続ける協和ガス化学工業。メタクリル一貫生産メーカーとして、常に“より良いもの”を求め続けています。

メタクリル樹脂・注型板

パラグラス®

メタクリル樹脂・押出板

コモグラス

メタクリル樹脂・成形材料

パラペット®



協和ガス化学工業株式会社

本社 〒103 東京都中央区本橋3-8-2新日本橋ビル ☎(03)277-3174
大阪事務所 ☎(06)345-3901 / 名古屋営業所 ☎(052)951-6396
福岡営業所 ☎(092)711-1530 仙台営業所 ☎(0222)66-1525



生きてる素材。

三菱レイヨンのプラスチック

メタクリル樹脂 / 板状品

アクリライト®

メタクリル樹脂 / 射出成形材料

アクリペット®

ABS樹脂

ダイヤペット® ABS

三菱レイヨン

東京(272)4321 / 大阪(202)2241 / 名古屋(561)6711



リスのプラスチック



今、新しい テーブルウェアの たび だち 出発。

ノーブル(英語)とは“高貴”という意味、その名にふさわしいテーブルウェアとして、リスの一貫したデザインポリシーから生まれたメタクリル樹脂の最高級品です。

リス
Noble
ノーブル

岐阜プラスチック工業株式会社

本社 岐阜市神田町9丁目25(大岐阜ビル6F) TEL<0582>65-2233(代)
稲羽工場 岐阜県各務原市前渡東町3620 TEL<0583>86-9311(代)
支店 東京・大阪・名古屋・福岡 営業所 高松・広島・仙台・札幌・宇都宮